

SDGs としての健康・医療・福祉関連に関わる公開セミナー

【日 時】 2018 年 8 月 31 日（金） 16:00～18:00

【会 場】 公益財団法人都市活力研究所 セミナールーム

【場 所】 大阪市北区大深町 3 番 1 号

グランフロント大阪タワーC 7階

【参加者】 40 名

【内 容】 以下の通り

(1) 「過去からの未来への万博と 2025 に向けた未来ビジネス」

1970 年万博や勧業博などを例に万博の歴史や現在の万博の意義を再確認し、現在、我が国が提案する「いのちみらい」がテーマである 2025 年の万博の提案内容を紹介しました。

また、7 年後の 2025 年に向けた新たなビジネス創出活動への期待を説明しました。特に、GHI が推進する EXPO2025WG 活動に参考にしていただくべく、万博提案内容と親和性の高いライフサイエンス分野や SDGs における身近でグローバルなビジネス展開への連動などに結び付けていくことを検討しました。

講 師 : 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 次長 石原康行

モデレーター: 新産業文化創出研究所 代表取締役 廣常啓一

開 催 風 景 :



(2) 「グローバルデジタルヘルス基盤の動向とインドとのパートナーシップ」

2017 年度に開始した理化学研究所を中核とするリサーチコンプレックス研究会から発展した「グローバルデジタルヘルス WG」。デジタルヘルスの基盤となる IT や IoT、AI やロボットなどの技術により、医療や健康の環境やサービスが急速に変わりつつあります。

また、ネットワーク化は、これまで医療にアクセスできなかった途上国などの地域にも変革を起こしています。デジタルヘルス分野への投資過熱と共に、標準化、デファクト化への国際的駆け引きが行われており、そこにカギを握る国の一つがインドであると言えます。デジタルヘルス閣僚会議を主催したインドの話題の戦略や連携方法を考え、UHC やグローバルビジネスの可能性を追求いたしました。

講 師 : (一社)クラウドセキュリティアライアンス代表理事 笹原英司
モデレーター: 新産業文化創出研究所 代表取締役 廣常 啓一

開催風景 :



以上